

学校教育目標	◎[共生] 人を思いやり、共に生きる喜びを学ぶことを大切にします。(徳・開・体)				
	◎[自律] 行動に責任をもち、集団の中で自分を生かすことを大切にします。(公・徳)				
	◎[発見] 様々な体験を通じて、自分を知り、学び、自らの生き方を見いだすことを大切にします。(知)				
学校概要	創立 74 周年	学校長 平林 潔	副校長 星野 幸稔	3 学期制	一般学級: 14 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 539 人 主な関係校: 白幡小学校・大口台小学校・港北小学校・子安小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	神奈川中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「課題解決力」(知・体) 「自尊感情(自己肯定感・自己有用感)」 (徳) 「コミュニケーション力」(公・開)	神奈川中学校 白幡小学校 大口台小学校	《 たくましく社会を生き抜いていく子ども 》 ・ブロック授業研のテーマを設定し、テーマを意識した小・中の研究授業を実施。 ・目指す資質・能力を育成するための具体的な手だてを考える合同研修会を実施。 ・児童生徒交流日に、6年生が中学校の授業参観及び、部活動体験を実施。 ・ブロック内の「ふれあいコンサート」にて、音楽発表を通じた小中交流を実施。 ・ブロック教務主任会や児童生徒指導専任会による情報交換等を定期的実施。

中期取組目標	○ 子どもたち一人ひとりがお互いの個性の違いを認めながら「全員を仲間と認める」「仲間と協力する」「仲間を大切にする」ことを基本として、全職員で誰もが安心して生活や学習ができる学校づくりを目指します。 ・授業に言語活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成を通して、確かな学力を身に付けられるようにします。 ・人とのコミュニケーションを通して、他者を尊重する態度と、自己肯定感や自己有用感を育てます。 ・様々な活動を通して子どもたちの自治能力を高め、自分を生かす力を育てます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①生徒の実態に応じた教科相談を実施していくとともに、学級学習の日を活用し、教科の補習等を行う。 ②授業見学や研究授業の際に参観メモを活用する等の工夫を通じて授業者へのフィードバックを確実にし、参観者・授業者共に研究を深める。
担当	学習指導部	
徳	道徳教育	①「特別の教科 道徳」のより充実した授業展開に向け指導と評価のあり方等について全職員で研修を行う。 ②確かな人権感覚や意識を育成するため、各行事のねらいに「仲間を大切にする態度の育成」を明記する。併せて、教師が生徒を、生徒が他の生徒を「認め・褒める場面」と「具体的方法」を実施要項に明記する。
担当	学習指導部(道徳教育)	
体	健康教育	①「健やかな体の育成プラン」に基づき、「体力・運動能力調査」や「学力・学習状況調査の生活・学習意識調査」等の結果を振り返り、自己の健康に興味をもたせ、体力向上や生活習慣の改善の意識を持たせる指導を行う。 ②昼食や家庭科の授業等において食育の推進をはかる。
担当	保険安全指導部・保健体育科	
公開	キャリア教育	①1・2年生の職業講話・体験の授業を通じて、生徒自身の「生きる力」の育成をはかる。 ②将来必要な知識・技能・心構え等を身に付けるキャリア学習を3年間を通じて計画的に行う。また進路コーナーに受験案内や過去問、高校パンフレット等を置いて、生徒が必要に応じて利用できるようにする。
担当	キャリア教育推進委員会	
いじめへの対応		①学期はじめにアンケートや教育相談を実施するとともに、定期的にいじめ防止対策委員会を実施して情報共有する。YPアセスメントを実施し、生徒一人ひとりの状況把握に努める。 ②PTA・地域・生徒・職員であいさつ運動を実施する。 ③日頃から受容的な環境づくりを意識した声かけ等を職員全体で意識して行う。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①ミドルリーダーを中心としたメンター研修担当が授業研を含めた研修を計画的に企画し、経験の浅い教職員に実践させる等の研修を行う。 ②全てのステージの職員が力を発揮できるような組織運営に努める。 ③部活動指導員の利用を図り、ガイドラインに沿った持続可能な部活動を探る。
担当	メンター担当・教務部	
地域学校共同活動		①地域と連携し、地域防災訓練や地域の祭り等の地域行事への生徒参加をはかることで生徒自身が地域の一員である意識を高める。 ②地域事業所との職業体験・職場体験を学校地域コーディネーターと連携して、持続可能な行事として実施できるようにしていく。
担当	学地地連担当	
特別支援教育		①支援が必要な生徒の情報収集・発信・共有を確実にし、学年会等で出た特別支援教育の課題は職員会議で全職員で共有する。 ②特別支援教育コーディネーターが中心となって、学校組織全体で特別支援室をより機能的に運営する。利用生徒の目標や今後の見通しを全職員で共有する。
担当	特別支援教育委員会	
担当		
担当		